



環境経営レポート 2021

対象期間:2020年4月1日～2021年3月31日

発行日:2021年7月1日



日立建機グループ



新東北メタル株式会社

【 目 次 】

1. 環境経営方針	2頁
2. 事業概要	3頁
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 活動範囲	
(4) 環境管理責任者及び連絡先	
(5) 事業内容	
(6) 事業規模	
3. 活動経営目標	4頁
(1) 2020年度及び中期(2022年度)数値目標	
(2) その他取組の行動目標	
(3) 実施体制	
4. 実績・取組結果	5頁
(1) 実績値と分析	
(2) エネルギー使用量及びCO ₂ 排出量の推移	
(3) 行動の取組結果	
5. 2021年度の目標と計画	6頁
(1) 経営〔数値〕目標	
(2) 経営〔行動〕計画	
6. 活動状況【写真集】	7頁
7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	8頁
8. 管理責任者の評価	8頁
9. 代表者による評価と見直し・指示	9頁

環境経営方針

基本理念

鑄鋼品の製造・販売を通して、内外から信頼される企業姿勢を確立すべく「環境との調和・社会との共生」を考えた環境経営システムを構築し、自主的かつ継続的な環境保全・改善活動の推進により広く社会に貢献します。

行動指針

- 1.電力、LPG等省エネルギー推進により、二酸化炭素削減を推進します。
- 2.廃棄物・水の削減等省資源に努めます。
- 3.化学物質の使用量削減、適正管理に努めます。
- 4.生産資材の環境配慮製品の活用を推進します。
- 5.鑄鋼品工場として、クリーンファクトリーを目指します。
- 6.生産工程改善、品質の向上により生産性向上を推進します。
- 7.環境関連法規等を順守します。
- 8.環境経営方針を全社員に周知徹底するとともに、環境保全・環境改善に関する意識向上のための教育と啓発に努めます。

2021年7月1日改定
(第3版)

新東北メタル株式会社

社長 来栖 直敏

(1) 事業者名及び代表者名

新東北メタル株式会社

代表取締役社長 来栖 直敏

(2) 設立

2001年4月1日

(3) 所在地

本社・工場

〒018-3301

秋田県北秋田市綴子字上台121-2

TEL:0186-62-2381 FAX:0186-62-2387

HP:<https://www.shintohokumetal.co.jp/>



(4) エコアクション21の活動範囲

本社・工場及び加工工場(全組織、全活動対象)

(5) 環境管理責任者名及び連絡先

責任者:管理部長 赤間 敏

連絡先:TEL・FAX 所在地と同じ

e-mail :s.akama.im@shintohokumetal.com

(6) 事業内容

鋳鋼品の製造・機械加工及び販売

【建設機械、産業機械、橋梁、建築、造船、製鉄機械、他部品】

(7) 過去3年間の事業規模

規模	単位	2018年度	2019年度	2020年度
資本金	千円	255,000	255,000	255,000
生産量	t	3,042	3,287	1,844
従業員数	人	97	99	96

環境経営方針及び現行負荷・取組内容等を踏まえ、日立建機グループ全体の目標を考慮した上で、実現可能と考えられる削減幅を設定して目標としている。

(1) 2020年度及び中期(2022年度)数値目標

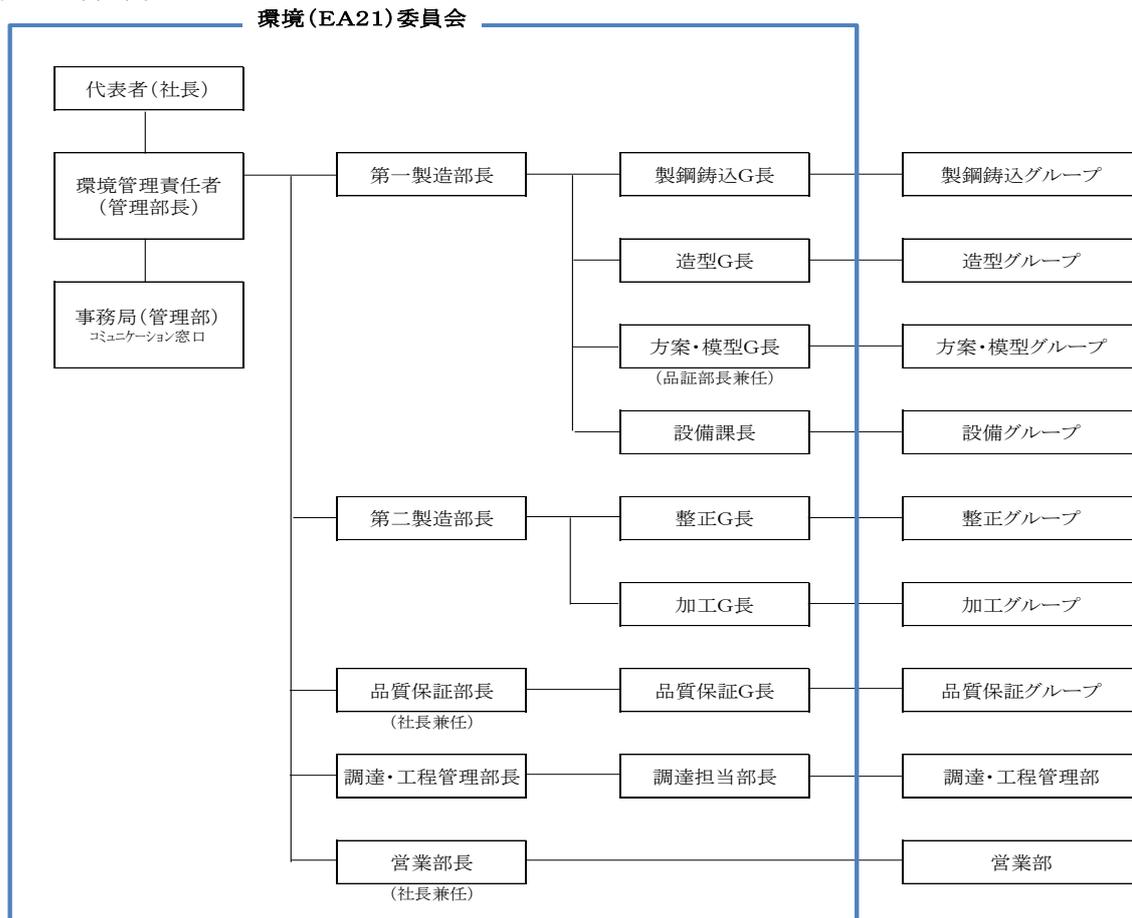
(削減%は対基準値)

項目	単位	基準値 (2010年度)		中期目標 (2022年度)		2020年度目標	
		絶対値	原単位	絶対値	原単位	絶対値	原単位
二酸化炭素排出量	t-CO2 /生産t	5,368	1.70	4,914	(6.9%) 1.58	5,410	(5.3%) 1.61
水使用量	m ³ /生産t ×100		0.15		(1.4%) 0.14		(0.0%) 0.15
産業廃棄物排出量	産廃t /生産t		0.41		(-34.0%) 0.55		(-39.0%) 0.57
化学物質使用量 (V.O.C)	使用kg /生産t		3.32		(57.3%) 1.42		(56.6%) 1.44

(2) その他取組の行動目標

- ・『環境適合品購入の推進』
エコマーク及びグリーンマーク製品他、適合品の優先購入を継続する。
- ・『環境保全意識の向上』
全従業員を対象に環境教育を実施する。
- ・『地域環境への協力』
年1回、地域のクリーンナップ活動に参加する。

(3) 実施体制



(1) 実績値と分析

環境目標項目	削減率 (%) 単位	2010 基準年度値		2020目標値		2020実績値		2020達成率		要因
		絶対値	原単位	絶対値	原単位	絶対値	原単位	絶対値	原単位	
二酸化炭素排出量削減	削減率 (%) t-CO ₂ /生産t	5,368	1.70	5,410	1.61	3,364	1.82	138%	87%	コロナ等の影響で大幅な減産となった為。
水使用量削減	削減率 (%) m ³ /生産t		0.15		0.15		0.22		53%	コロナ等の影響で大幅な減産となった為。
産業廃棄物排出量削減	削減率 (%) t/生産t		0.41		0.57		0.57		100%	クロマイトサンド使用量を減らした事等による。
V.O.C排出量削減	削減率 (%) kg/生産t		3.32		1.44		1.56		92%	要塗装製品が減った事、資材の一部を変更した事等により健闘。

(2) 4負荷の推移(原単位、CO₂は絶対値含む)



(3) 行動の取組結果

二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	照明	削減 CO ₂	灯油・LPG等使用量削減	①お湯出しっ放し禁止。(灯油) ②処理量の適正化等、ガス炉を効率的に運用する。(LPG)
		①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する。	削減 廃棄物	産業廃棄物削減	①クロマイトサンド使用量を低減する。 ②砥石を適正使用し、廃棄量を抑える。 ③分別を徹底し、鉄製品を材料としてリサイクルする。 ④こぼれ砂を回収して再利用する。
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不要な時は、消灯する。			
		③常に節電を心がける			
		冷暖房	量 水 削減 使用	水道水使用量削減	①水を出しっぱなしにしない。 ②節水の表示を行なう。 ③朝礼時に随時、節水を励行する。
	①冷暖房の温度(冷房28℃、暖房22℃)を順守する。	削減 物質 学	V.O.C取扱量削減	①使用量を把握する。 ②適正量使用に努める。	
	設備の節電				
	自動車燃料使用量削減	削減 その他	グリーン購入 社員教育 地域活動	①工場では、昼休みはコンプレッサーを停止、または稼働機を減らす。 ②工場溶解部門では、1ch当たりの電気炉操作時間の短縮に努める。	①事務用品は極力、エコマーク・グリーンマーク商品にする。 ②環境経営レポートを従業員全員に回覧し、意識向上を図る。
				①車両のアイドリングを行なわない。(冬期は可能な限り短縮) ②急発進・急加速・空ぶかしを行なわない等のエコドライブを実施する。	①使用量を把握する。 ②適正量使用に努める。
					①冷房温度設定は、外気温等の状況により徹底出来ない場合があったものの、他項目については定着しており継続実施する事が出来た。 今後も、引き続き取組を継続していく。

5. 2021年度の目標と計画

(1) 経営〔数値〕目標

環境目標項目	削減率(%) 単位	2010 基準年度値		2021目標値		2022目標値		2023目標値	
		絶対値	原単位	絶対値	原単位	絶対値	原単位	絶対値	原単位
二酸化炭素排出量削減	削減率(%) t-CO ₂ /生産t	5,368	1.70	4,188	1.40	4,914	1.37	5,670	1.35
水使用量削減	削減率(%) ml/生産t		0.15		0.15		0.14		0.14
産業廃棄物排出量削減	削減率(%) t/生産t		0.41		0.56		0.55		0.54
V.O.C排出量削減	削減率(%) kg/生産t		3.32		1.43		1.42		1.41

※電力CO₂換算係数の緒元: 東北電力令和元年度の基礎排出係数は、0.519t-CO₂/kWh

(2) 経営〔行動〕計画

カテゴリ	関連SDGs	項目	行動目標	目標値	備考
				2021年度	
ガバナンス		法令遵守	企業としての社会的信用維持(法令・条例違反防止)	違反0件	企業ブランド、社会的信用は健全な企業活動を維持継続していくうえで不可欠であり、コンプライアンス遵守は最重要課題であることを認識し活動に努める。
		コンプライアンス クレーム低減	クレーム発生防止	発生0件	クレームの未然防止活動(騒音・悪臭発生設備の点検、非定常作業時の配慮など)に努め、引き続きクレーム未発生継続を図る。
		サプライヤとのパートナーシップの強化	環境巡視実施	訪問5件	QMSの調査訪問時に併せて環境管理面の巡視を行なう。
		環境人財育成 環境教育	環境人財育成と全従業員の意識共有	教育実施100%	計画的に人を育成して必要な環境人財(資格者)を確保すると共に、全従業員の環境意識の向上及び共有を図る。
低炭素社会		事業所のCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量原単位改善率(2010年度比)	17.6%	エネルギー利用の効率化を進め、CO ₂ 排出量削減や排出量抑制活動を推進することで地球温暖化対策に貢献する。具体的な施策は、RT15内で積み上げる。
		CO ₂ 排出総量削減	CO ₂ 排出総量管理(排出量目標)	4,188t-CO ₂	エネルギー効率向上による削減活動を推進することでエネルギーCO ₂ 排出総量を管理し、地球温暖化対策に貢献する。
		ファクトリー&オフィス 高効率機器導入	高効率機器の導入件数	—	今後の策定による。
		環境パフォーマンスの見える化	4負荷削減効果のコスト評価	後日設定	環境活動の財務貢献を示すことで省エネ施策に係る新営等の計画促進と計画の着実な遂行を促す。
		輸送(荷主)のCO ₂ 削減	輸送負荷原単位改善率(2010年度比)	16.2%	製品の一括輸送、輸送回数の低減等により、CO ₂ 排出量低減を図る。
高度循環社会	 	水循環 水利用率の改善	水使用量原単位改善率(2010年度比)	36.1%	水利用率の改善事例をグループ内外で広く共有し、更なる改善に向けて活動を推進する。
		資源循環 廃棄物削減、再生利用 資源利用効率改善	廃棄物有価物発生量削減	17.2%	継続して、資材や作業方法の変更、設備改善等により廃棄物排出量削減に努める。
			廃棄物埋立率低減	98.09%	継続して廃棄物の資源利用法を調査・検討し、埋立率削減を図る。
原材料使用量の管理推進	種類・総量把握		原材料使用量を正確に把握し、材料使用の効率化・資源循環施策を検討する。		
自然共生社会	 	化学物質 化学物質排出量の削減	化学物質大気排出量原単位改善(2012年度比)	57.0%	人や生態系に悪影響を与える化学物質は、プロセス改善や代替化により排出量削減を図る。
		製品含有化学物質リスクの最小化	グリーン調達ガイドラインに基づく化学物質の管理推進	状況把握	グリーン調達ガイドラインに基づく化学物質管理を強化し、国際的な製品含有化学物質規制の強化・拡大に伴うリスクの最小化を図る。
		生態系保全 自然資本へのインパクト算出	負のインパクト算出	調査	推進室の指導のもと、長期目標「自然資本へのインパクト最小化」に向けた活動を推進する。

2020.4 クリーンアップ



2020.10 消火訓練



2020.7 レポート回覧



購入エコマーク製品



産廃管理（廃プラ）



産廃管理（鉱滓）



7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無



新東北メタル株式会社

取組期間中の環境関連法規遵守状況は、2021年6月にチェックリストで確認し、その結果は下表の通りで法律違反は無かった。行政・地域住民・その他からの訴訟も過去3年間皆無であった。

区分	法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	遵守判定	区分	法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	遵守判定
大気汚染	大気汚染防止法	特定施設の届出	○	廃棄物	廃棄物処理法	委託基準：産廃収集運搬・処理業者の許可の確認、契約	○
		排出基準の遵守(ばい煙測定)	○			保管基準順守(掲示、飛散・浸透防止、衛生管理)	○
		測定・記録義務	○			マニフェスト交付及び保管	○
	公害健康被害補償法	汚染負荷量賦課金の申告及び納付	○			産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出	○
	フロン排出抑制法	エアコン等の機器について定期点検(漏れ)を行なう	○			多量排出事業者の報告(1000トン/年以上)	○
水質汚濁	水質汚濁防止法	油及び有害物質の流出事故時の措置と届出	—	化学物質	化学物質排出把握管理促進法	水銀使用廃棄物は他のものと混合させずに保管し、許可業者に処分委託	○
	浄化槽法	保守点検、清掃、記録の保管(3年間)	○			取扱者は排出・移動量を報告	○
		定期水質検査	○			性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取・発行	○
省エネ	省エネ法 温暖化対策推進法	エネルギー管理統括者・管理企画推進者・管理者の選任・解任届	○	劇物	毒物及び劇物取締法	盗難・漏洩防止、容器、貯蔵場所に表示	○
		中長期計画書の提出	○			事故・盗難時届出(警察など)	—
		定期報告書の提出(温室効果ガス算定排出量含)	○			高圧ガス保安法	特定高圧ガス消費施設等変更の届出
県温暖化対策推進条例	温室効果ガス排出量等報告書の提出	○	特定高圧ガス取り扱い主任者届出	○			
設置	工場立地法	特定工場に係る変更をしようとするときは、届出	○	保安		CE設備保安検査、自主検査	○
		届出し90日を経過後でなければ新設、変更をしてはならない	—			LPG設備自主検査	○
公害	公害防止組織整備法	公害防止統括者を選任し届出(資格不要)	○	消防法		危険物製造・貯蔵・取扱の指定数量以上の許可申請	○
		公害防止管理者選任、特定工場は区分毎に選任し届出(資格要)	○			製造所等の危険物保安監督者の届出	○
土壌汚染	土壌汚染対策法	土地の形質の変更をする際、土壌調査結果・場所・着手日等を届出	—			指定数量未満(1/5以上)の危険物保管の届出	○

8. 管理責任者の評価



新東北メタル株式会社

評価項目	内 容
①環境関連法の遵守状況	環境法令等の違反は無し。
②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果	『CO ₂ 排出量』削減の為、最後の重油炉1基をガス炉に転換し、社内を重油レスとした。また、構内で使用しているフォークリフト2台をエンジン式からバッテリー式に変更したが、生産量が大幅に減少した事から原単位では目標値に対し+2.1(達成率87%)と、未達となった。 また、『水使用量』は主な用途が冷却水であり生産量の増減が反映されにくい事から、今年度の減産の結果は目標値に対し+0.07(達成率53%)と、大幅未達となった。
③問題点の是正処置及び予防処置結果	2021年度は大掛かりな設備改善計画は無く、生産量が増加しない事には原単位での大幅改善は望めないが、グループ他社の改善施策を当社のRT活動に取り込む等して、引き続き削減に努める。
④外部からの苦情等の受付結果	無し。
⑤組織に影響する法規制動向	無し。
⑥グリーン購入の推進状況	価格を考慮したうえで、積極的に継続購入している。
⑦エコアクション環境改善提案	今年度は無し。
⑧その他	毎月の『安全衛生・環境会議』議事録を全従業員に回覧し、安全意識と共に環境意識向上を継続的に図っている。また、親会社日立建機(株)環境部門の監査・指導を受け、改善を進めている。

見直し項目	評価	指示事項
1.環境経営方針	昨今の社会情勢や当社を取り巻く環境の変化、このEMSの要求事項等を考慮し、7/1付で改定する。	今後も諸々の状況変化を考慮し、必要があれば見直す事。
2.環境経営目標及び環境経営計画	2020年度はCO2削減に繋がる設備工事が完了し、行動面でも計画通りに実施したが、生産量の大幅減少により原単位は悪化してしまった。 2021年度は、増産と更なる生産性向上の種々の取組みにより、CO2原単位向上を図る。	具体的なCO2削減施策を策定し、RT15で継続して管理する事。
3.実施体制	EA21委員会(環境委員会)での目標及び毎月の実績・解析データ、意識の共有は出来ている。	今後も安全衛生・環境会議を活用し、各種情報・意識の共有を継続する事。
4.その他	特に無し。	特に無し。
5.所感	2020年度は新型コロナウイルスの影響で当社も大幅な生産量低下となり電気、ガスなどの使用量原単位が上がってしまった。 2021年下期からは生産量も回復する見通しなので、低生産時には出来ていなかった色々な施策を実行し、社員みんなでCO2削減を達成していきたい。	



およそ2.5Hかけて溶解した約8tの溶鋼の出鋼風景